

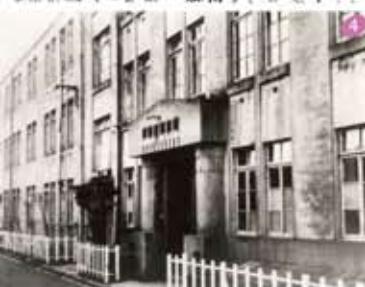
幸楽会場より vol.14

大阪音楽大学同窓会会報

大阪音楽大学同窓会《幸楽会》広報委員会編集



1. 大阪毎日新聞 大正4年5月28日
2. 開校当時の仮校舎 大正4年10月15日
3. 朝比奈隆の授業
4. 味原校舎
5. 永井幸次 明治39年 32歳
6. 庄内学舎と池
7. 完成したスタジオ 昭和31年
8. 現在の正面入口
9. オペラハウス 平成元年



2013年度 総会

日時：2013年4月28日(日)14:00～
会場：ミレニアムホール

- ・在籍生アンサンブルコンテスト
 - ・黒親会（無料）etc.

ご挨拶

早いもので、私が《幸楽会》会員の皆様のご推挙により、会長職を務めさせて頂くようになってから三年が経ちました。その間、東日本大震災があり、また昨年末からは政権交代、近隣諸国との問題、体罰、アルジエリアでのテロなど、様々な問題が私たちの心を悩ませております。私達が生業とする音楽はこれらの出来事に対しても、どのような役割を果たすことができるのか、等々の課題を残しつつ、今後も母校の発展と二年後の母校創立100周年に向けて、皆様と共にできる限りの力を尽くして行きたいと考えております。

ご挨拶

大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部学長 武藤好男



《幸楽会》会長 松尾昌美

学長に就任して1年が過ぎようとしています。少子高齢化に加えて、この厳しい社会・経済の状況の中、私も同様、大阪音楽大学も悪戦苦闘を強いられていますが、そのことを嘆いても仕方ありません。このような状況だからこそ打開のための新しい試みを、という考え方もあるでしょうが、私はむしろこのような状況だからこそ、教育の充実に努めるべきだと考えています。勿論、社会のニーズを察知し、それに応えていくことは大切ですが、大学の主役は学生です。ハード面での充実には財政的に困難な面が多くありますが、音楽を学ぶ上で大切なソフト面を中心にもっとも重要な質の充実を図り、本学で学んでよかつたところを思える大学にするために努めてまいります。

大阪音楽大学は2015年に100周年の記念の年を迎えます。卒業生の皆様の音乐会での活動が、大学の存在感とステータスを高め、ブランド力を上げることにつながります。今後の皆様のなお一層のご活躍をお祈りするとともに、母校に対する忌憚のないご意見と更なるご支援をいただきますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

最後にお知らせですが、2014年度入試から、同窓会《幸楽会》特別推薦の大学の出願資格を一部変更し、音楽基礎科目の認定を取得していない場合でも、11月の推薦入試で公募推薦と同様に「作文または専門実技追加課題」(第2方式)での受験ができるようになりました。詳しくは同封の文書をご覧の上、受験生をご推薦いただければ幸いです。

2013年度 総会

2013年4月28日(日)

14:00～(受付開始 13:30)
大阪音楽大学 ミレニアムホール

・学生アンサンブルコンテスト本選

総会の後、

4月7日の予選を勝抜いた3組が演奏します。
皆様の審査で金賞・銀賞・銅賞が決まります。

懇親会 15:30～
学生食堂 ばうぜ

・立食パーティー 会費無料。
学生アンサンブルコンテストの結果発表。

2013年度幸楽会特別推薦入学試験結果

大学		
学科・専攻	志願者数	合格者数
作曲	0	-
音楽学	0	-
声楽	3	3
ピアノ	19	19
パイプオルガン	0	-
管楽器	5	5
弦楽器	3	3
打楽器	0	-
クラシックギター	0	-
邦楽	0	-
ジャズ	0	-
ポピュラー	3	3
電子オルガン	0	-
ミュージカル	0	-
ダンスパフォーマンス	0	-
合計	30	30

短大		
専攻・コース	志願者数	合格者数
作曲	0	-
声楽	2	2
ピアノ	10	10
管楽器	2	2
弦楽器	0	-
打楽器	0	-
クラシックギター	0	-
邦楽	0	-
ジャズ	0	-
ポピュラー	3	3
電子オルガン	0	-
ミュージカル	0	-
ダンスパフォーマンス	0	-
合計	17	17

2014年度同窓会《幸楽会》特別推薦入学試験における変更点

大学において「志願する専攻に必要なすべての音楽基礎科目の認定を取得していない方」でも出願できることになりました。9月に実施する同窓会《幸楽会》特別推薦実技認定審査で実技認定された場合は、11月に実施する特別推薦入学試験において「面接」および「作文または専門実技追加課題」を受験してください。(「専門実技追加課題」は6月1日発行の『2014年度入学試験要項』をご覧下さい)。

「志願する専攻に必要なすべての音楽基礎科目の認定を取得した方」の特別推薦入学試験での試験科目は従来どおり「面接」のみです。



幸楽会では、2011年3月11日の東日本大震災後、総会と幸楽会コンサートで募金箱を設置いたしました。おかげさまで多くの皆様がご協力ください、昨年6月29日本経済新聞社を通して日本赤十字社にお届けいたしました。

2012年度総会報告

2012年度総会と懇親会



2012年4月29日(日・祝)午後2時より母校ミレニアムホールに於いて「幸楽会2012年度総会」が行われました。

北野事務局長の開会宣言に続き、松尾会長の挨拶のあと、山口宏美さんが議長に選出されました。

まず、新入会員422名、新入準会員327名の入会承認がされました。

その後北野事務局長から2011年度の活動報告と決算報告がされ、承認を得ました。続く2012年度の活動計画も予算案とともに説明がありこれも問題なく承認を得ました。

次に当日の朝行われました支部交流会について北海道支部の和田陽恵さんより、今後も大学と幸楽会との協力を確認したとの報



昭和31年に声楽を卒業しましたが、今も現役で20人ほど生徒を持ち、指導に携わっています。ほぼ毎年参加しています。

100周年を目指してがんばってほしいです。そして、今日は中学校からの同級生にも偶然出会え再会することができた!

お世話になつた先生方にも、「挨拶ができる、この交流の場に感謝しています。

告がありました。

総会終了後は田中勉事業委員長の司会で、恒例となった学生アンサンブルコンテストがはじまり、3組の演奏を楽しみました。

その後、場所を「ぱうぜ」に移して懇親会がはじまり、始終和やかな雰囲気のなかで、久しぶりに集まつた方々の歓談の輪がいくつもできていました。

母校で総会をすることで大変来やすくなりました。毎年楽しみにしています。

学生さん達の演奏も立派で素晴らしいです。



小西直樹江(学4) 小西由貴江(学4)
今村真輝(学4)

私たち、双子の姉妹で金管二重奏を結成しています。

昨年は二位を頂きましたが、今年は一位を頂くことができ、とても嬉しいです。

私たち双子にしかできない演奏を目指して練習して、これからも私たちの音楽が少しでも伝わるよう頑張ってまいります。

今年で卒業となりますが、これからもう一息の気持ちを忘れず日々努力していきたいと思います。今回はこのような素晴らしい賞をありがとうございました。

学生アンサンブル「コンテスト出演者の声



川畠理平(学3) 大平裕也(学1)
後田聰(学3) 松島聰悟(学1)

まず、このような賞を取れることを心より嬉しく思います。今回のアンサンブルは、ユーフォニウム二本、テューバ一本と言う余りメジャーでは無い編成のアンサンブルでしたが、楽しんでいただけましたでしょうか。

今日の演奏に至るまでにメンバー全員でスコアを分析し、曲の構成や雰囲気を掴みながら演奏を創りました。楽器の特性として、音がハッキリせず、曲のフレーズやリズムの噛み合いを作り上げる事に苦労しましたが、今日このメンバーで演奏出来たことを幸せに思います。



金賞 印藤 緑(学3) 高多祥子(学3)
西平 真琳(学3) 清田愛果(学3)

今回のオーディションは、私たちにとって2回目の挑戦でした。前回は残念な結果になり、とても悔しい思いをしましたので今年は前回の悔しさをバネに、何度も練習を重ね日々努力をしました。結果が出たときは、本当にうれしかったです。本選では3位といった結果になりましたが、すごくよい経験になりました。



メンバー専用サイトにアクセスするためのパスワードが変わります

ID: kougakukai (すべて小文字)
パスワード: kotohogi (4月1日から)

未使用切手の
ご寄付をお願い
します。

皆様のお宅に眠っている不要の未使用切手がありましたらご寄付ください。事務連絡に使わせていただきます。

06-6334-2832
<http://www.kougakukai.net/>

不定期に閉室する」ともありますので、お越しが変わったときにはお電話かホームページで開室をご確認ください。

月・水・金 10時～17時

幸楽会事務室からのお知らせ

06-6334-2225
キヤリア支援センター

お問い合わせ・お申し込みは

2009年4月から教員免許状更新講習について導入され、本学でも更新に必要な講習を毎年実施しています。2013年度も実施する予定で、現在文部科学省に申請を行っています。

今後は、2013年3月中旬に募集案内を発行し、4月初旬に予約申込期間を設ける予定です。先着順ではありませんが、申込多数の際は締切後に抽選となる場合がありますが、卒業生には配慮します。奮つて応募ください。

教員免許状更新講習について

第46回幸楽会コンサート

2013年1月14日(月・祝)13時開場・14時開演



音楽事始め

2013年の幸楽会の活動は1月14日にザ・カレッジ・オペラ・ハウスで開催された「ニューイヤーコンサート」で幕開けとなりました。朝からの雨も開場の頃にはあがり、幸先の良い音楽事始めになりました。

「あけましておめでとう」の挨拶では金屏風の前で箏の演奏があり、新春らしいムードに包まれておめでとう」といふが交わされました。朝からの良い音楽事始めになりました。

オペラハウスが満員になるたくさんの方にお siti いただき、関係者一同喜んでおります。ありがとうございます。ありがとうございました。



「あけましておめでとう」といふが交わされました。朝からの良い音楽事始めになりました。

今回は田中勉事業委員長が自らナビゲーター役として、オペラ、オペレッタの世界へといざなうという初めの試みで、舞台と客席がいつも以上に一体化し、演奏をお楽しみいただけたようです。第1部は「ドン・ジョバンニ」からの抜粋を管楽アンサンブルで、そして休憩をはさみ第2部はオペラ・ガラとしてミュージカルやオペレ

◇出演者の感想◇

田中勉(ナビゲーター役)



ナビゲーター役

ナビゲーターとして進行役を務めた。

今回初の試みで

あつたが、客席の反応が良く、とてもやりやすかつた。

今回のプログラムは第1部がオペラ「ドン・ジョバンニ」からの抜粋、第2部がミュージカル、オペレッタとテーマに貫性を持たせる」とができた。

また華やかなそして軽快な曲を集めたので新春らしい舞台になつたと思つた。

小川哲生(クラリネット)

とにかく楽しかった。このコンサートのために編成されたアンサンブルで



第47回 幸楽会コンサート

2014年1月13日(月・祝)

詳細が決定したホームページに掲載いたします。

ぜひ多数ご来場ください。
Kougakukai Concert
幸楽会コンサート



大阪音楽大学100周年を迎えて思うこと

水谷一郎



大阪音楽大学では現在大学独自の始業終業チャイムが使われています。これは1978年頃から使われているものですが、このオリジナル・チャイムの使用に至る経緯を知る関係者が学内には殆どこのつておられません。今回、チャイムを制作した関係者としてそのいきさつを書かせて頂きます。

チャイムの前は始業終業の合団は「ザー」だった様な気がしますが、もしかしたら「ジリジリジリ……」という音を制作した関係者としてそのいきさつを書かせて頂きます。

エストミンスターの鐘のメロディーをチャイムにしたものが普及し始めたが、1973年頃、水川学長・理事長(当時)の「音楽大学なのだから、素つ氣ないザーではなく、フェスティバル・ホールのように独自のチャイムを作つてはどうか」との提案を受けて、作曲学科の教員が作曲し管弦打楽器専攻の学生の演奏で録音したものを、定時にテープで流すことになりました。このチャイムは二年毎に交代して作曲することになり、第1回(1974年7月5日)は近藤・景山教授コンビ、第2回(1976年7月7日)は鈴木・田島教授コンビと順送りで作曲していました。

3回(1978年8月)は、近藤主学長補佐が、当時話題になり出したシンセサイザーを使ってみなさいとの提案で、シンセサイザー関係の授業を担当していた植野正敏講師(始業)と水谷一郎講師(終業)の2人が数曲ずつ試作し、作曲部会の教員の審議を経て各一曲が選ばれたものです。81年からは次のコンビに引き継がれるはずだったのですが、1980年2月に提案者の水川学長が逝去了されたため、この順送りが途絶え、植野・水谷コンビのものがそのまま使用され続け現在に至っています。

因みに、用いたシンセサイザー(当然アナログ)は、始業チャイムがRoland社のシステム700で、校歌の旋律が鐘の響きの中に隠されています。終業チャイムは京王技研社のKORG-P3100(ボリ・シンセ)で、木の温もりを彷彿させるマリンバのような音色の单旋律です。余韻の重なりが濁らないようにピタゴラス音律を用いた五音音階を用いています。

KORG P-3100 ポリフォニックシンセサイザー
Roland System 700

大阪音楽大学終業チャイム

水谷一郎 作曲 制作





誰もが楽しめる「コンサート」を目指して

1989年度大学卒

石原光世

「この子は一生、コンサートに行く事はない。これから先、大人になつても。」この言葉が胸に突き刺さりました。私がピアノを教えていた生徒のお母さんです。

本学の卒業生でもある彼女には三人の娘さんがおり、お姉ちゃんとは、クラシック、バレエ、ミュージカルと、何でも行きたい公演に足を運び、一緒に楽しめるのに対して、知的障がいのある妹は、いつも家でお留守番という状態でした。私も、初めてのオーケストラとの共演を前に、自分と周りのない自分に、もどかしさを感じていました。

私の生徒の中には、知的障がいのある人が何人かいります。知的障がいと言つても色々なタイプの人方がおられます。が、彼らは概して感情表現が多彩で、公共の場でしばしば声をあげてしまうことがあります。コンサート等、気の張る場所に出かけて行きにくいのが現状です。勿論、そういった人たちを対象としたコンサートもあるのですが、どうではなく、プロが普通に催すコンサートを、普通に大人も子どもも障がい者も楽しめる、そんなコンサートがあればなあ。そんな思いで、1999年11月、第1回パリアフリー・コンサートを開催しました。コンサート中に何が起きてても、演奏する側は動揺してはいけない、という事で、最初の出演者は大学時代の恩師と、先輩にお願いしました。主宰の私が一番年下ということで、コンサートの企画についてのノウハウや、運営面での様々な意

見をいただけた事は幸いでした。

その後、コンサートは発展し、手話で歌を表現したり、みんなで手話で歌うコーナーなども登場しました。来られるお客様の層も広がりました。

問題は、会場がパリアフリーでない所もあり、車椅子での入場が難しい事もあつた事です。そこはスタッフを増員して人海戦術で頑張りました。やがて、行政が後からついて来るような形で、そういう会場もパリアフリー化が進んだ事は嬉しい限りです。

「疾を吸引しないといけないので、コンサート中には音がしますけどいいですか?」という電話がありました。当日、ストレッチャーで来られたその方の「ビー」という音が聞こえるたびに、ああ、今この人の命はつながっていふと演奏しながら感じる事ができました。

昨年9月に、コンサートは30回目を迎えました。次世代を担う新しいメンバーも増え、これからも発展していくであろうこのコンサートを、私も微力ながら支えていこうと思いま

♪再び学ぶ喜びを楽しんで♪

昭和52年声楽科卒業 鈴木(梅木)恵子
大学を卒業して35年。

日本演奏家コンクール声楽部門一般Bで第一位となりました。卒業後すぐ、女声アンサンブル「エコ・エレガンテ」のメンバーとなり、先輩たちから引き継いだ、明るく暖かいハーモニーを作るため、メンバーで話し合い、練習を重ね、とても楽しく充実した3年間を過ぎました。

そして結婚。転勤族の夫と各地を巡り、新しい環境での友人と出会いは、幸せな日々でしたが、社宅という集合住宅の中では大きな声を出すこともむづかしく、喉の老化もひどく、歌う事はすっかり諦めてしまいました。

ふとしたきっかけで、33年ぶりに、音楽院で小餅谷先生の個人レッスンを受け始めました。数々のオペラ出演で研鑽を積まれた先生のアドバイスは的確で、お話を楽しく、親の介護で疲れた心にも元気をいただいています。

そして、2年でコンクールに挑戦という夢を叶える事ができました。

思いついたらそこに母校がいつも門を開いて待つてくれている事もありがたいと思いました。私のように音楽から遠ざかつた卒業生にも再び学ぶ喜びを楽しんでいただきたいと思いました。



演奏会に幸楽会の後援名義を使用される会員の皆様へ

後援名義に記載する場合は

大阪音楽大学同窓会《幸楽会》

としてください。

使用していただいた演奏会は、ホームページと大学の広報誌Museに掲載いたします。ただし、Museは締切りの関係で掲載できないことがありますので、幸楽会のホームページまたは幸楽会事務局でご確認ください。

幸楽会後援演奏会ページURL

<http://concert.kougakukai.net/>

名義使用申請フォームURL

<http://www.kougakukai.net/form/meigi.html>

皆様の投稿をお待ちしております。(紙面の都合で順次掲載いたします)

1. 「ご存知ありませんか? 同窓生の消息や想い出の資料を探す。(150字以内)
2. 「私にとっての音大、次世代に伝えたいなど」(400字~500字)お写真も一緒にお送りください。
3. 「同窓会報告」(300字程度)とお写真をお送りください。

♪原稿募集♪

スマフォ、ケータイからアクセス
スマフォ、ケータイからでも見る事ができます。
幸楽会後援名義使用
演奏会情報



京都府中丹支部 支部長:河田英子

私達京都府中丹支部は11月に「第2回支部コンサート」を開催しました。

ピアノ、二重唱、三重唱、トロンボーン等、なじみのある曲を取り入れ楽しんでいただけるコンサートになるよう企画しました。その他に新緑のつどいコンサート、クラシック・ガラコンサート、地域音楽交流会、お月見チコンサート、もみじまつり、ロータリー忘年例会と多くのコンサートに出演しました。これからも勉強を通し、音楽のよさを伝えていく活動をしていきます。皆さんの努力で少しずつですが、幸楽会の名前を知っていただけるようになりました。

**和歌山県支部** 支部長:新田博昭

2013年4月21日(日)音楽文化堂2F(県庁前)にて県支部総会とミニコンサートを開催、そして6月30日(日)1時30分より県民文化会館小ホールにて「Concert KougaKu 21」(第21回幸楽コンサート)を開きます。

新しい年を迎える会員の皆様にはいっそうのご活躍をお祈りいたします。また、県支部の行事には奮って参加してください。

写真は昨年7月22日(日)第10回リリカ幸楽コンサート午後の部の記念写真です。午前の部24名午後の部23名の盛大なコンサートになりました。

**石川県支部** 支部長:四柳由恵

毎年8月に開催していた総会を1月13日に新年会を兼ねて総会を行う事になりました。来年度は出演者に負担がかからないように、又、来客の方々にも気楽に楽しんで頂けるような気楽な「コンサート」を課題にしてみたいと思っています。「ラフォルジュルネ金沢」のピアノオーディションに合格した吉藤佐恵さん、声楽の韓さん、四柳さんも「能登半島震災復興&東日本大震災復興の祈り」コンサートなど皆さん地域社会に根付いたコンサート活動をしています。

会員の方々が、何らかの形で地道に音楽活動を続けられたら良いなあ~と思っております。

北海道支部**三重支部** 支部長:福嶋正俊

2013年4月13日に行う「スプリング・コンサート」に向けて練習、準備をしています。今回のコンサートでも、林先生にご指導とコンサート当日の指揮をしていただきます。他にも新人の演奏や会員の演奏、特に今回は自作の曲やジャズといつてもとは違うジャンルも組み込まれた演奏会となります。また、場所も変え、伊勢トビアで行うことなりました。場所を変えることで、参加して下さる会員の方が増えればと思っています。皆様、是非「スプリング・コンサート」にお越し下さい。

福井県支部 支部長:堂田展江

2012年8月28日にハープセミナーとコンサートを開催しました。ハープ工場見学とお話、その後ハープ演奏とアイリッシュハープ演奏の指導に参加者は「やすらぎ」の時間を過ごしました。

2013年は県支部結成20周年を迎えます。会員相互の親睦と更なる研鑽、また母校のますますの発展を祈って今後も地道ながら活動を続けられることを願っています。

・総会 2013年4月7日(日)10:30～

敦賀市プラザ萬象第4会議室

・県支部結成20周年記念演奏会

2013年11月10日(日)13:30～

県立音楽堂ハーモニーホール

・会報「HARMONY」No. 20号発行

**富山県支部** 支部長:藤澤則子

一昨年から始めたボランティア活動(訪問演奏会)を7月済生会高岡病院、8月射水市市民病院で実施しました。今年度は研修会の年度でしたので、名簿上だけの会員にぜひ参加していただきたいと会員限定のサロンコンサート(出演者の負担を減らすため)を12月に実施すべく準備しておりましたが新規参加者ゼロという始末。仕切りなおして新年2月に変更したところ7人の参加があり、実施する運びとなりました。ボランティア活動でも新たに3人が参加してくれ、少しずつですが活動人数が増えていってくれればと思っています。

**奈良県支部** 支部長:石原喜久子

支部の体制が変わりました。

支部長: 石原喜久子

副支部長:吉岡眞・浦恩城利明

北海道支部 支部長:明楽みゆき

昨年度に続き「東日本大震災チャリティコンサート」を、日本福音ルーテル札幌教会様にご協賛頂き開催。秋には、ヴォーカルグループへアーラーへの皆さんをお招きし、オペラレクチャーコンサート、冬には、ミュージックベルの体験演奏を交えてのクリスマスコンサートを開催。支部会員の指導のもと、たくさん来場してくれた幼稚園児の皆さんのお演奏に、会場は暖かい拍手に包まれました。今後も地域の方々との交流を大切に、懐かしい学び舎で学んだ事を社会に還元する活動をしたいと考えています。

**岐阜支部** 支部長:加納恭子

2012年8月26日 岐阜のサラマンカホールにて「第49回(幸楽会)岐阜支部演奏会」を開催いたしました。今回は、新しい出演者にも恵まれ、ソロ6人 アンサンブル3組 合唱 推薦演奏会の受賞者2人という充実したプログラムになりました。8月という暑い中の開催は、出演者にもお客様にも、少なからずご負担をおかけしています。それでも会の中身の充実で、皆様に満足していただけるよう会員みな一生懸命取り組み、おかげさまで好評のうちに終了することができました。課題も多数ありますが、今、次回の50回に向けみなで動き始めたところです。音大関係者の皆様に感謝つつ、更なるご助言を賜りたいと願っております。

**関東支部** 支部長:東由桔子

3,4年に1度開催しているセミナーや公開レッスンを、今年度は、「会員の会員による会員のための公開レッスン」として、講師、受講者、聴講者すべて会員の「ピアノ奏法・発声法公開レッスン」を行いました。ピアノ講師は水頭説子さん。大学院修了後、関東に拠点に活躍されている実力者。発声講師は望月智子さん。大学院歌劇科を修了後、海外で研鑽を積んでこられました。受講者はピアノ4名、発声2名。ピアノでは音楽を作る音の出し方を、発声では体のどの部分をどのように使って声を出すかを、繰り返し丁寧に説明して下さいました。参加者は38名。皆が「満足、納得!」のレッスンでした。来年度行事予定

- ・総会・懇親会 5月
- ・地区懇親会
- ・コンサート 3月(会員の生徒)10月(会員)
- ・会報発行 7月、10月
- ・ボランティア活動



大分県支部 支部長:中川國生

現在会員数は48名ですが、支部総会出席者は例年役員を含め12~15名です。支部演奏会を2012年8月19日(日)、大分県医師会館で開催し、はじめてポピュラーコースの現役生に出演して頂きました。又支部会員とのアンサンブルで他大学出身者との交流も広がってきたことは、嬉しい限りです。少しずつですが観客層が広がり大阪音楽大学の名前を知っていただくことが出来ました。来年度は3月24日(日)支部役員会・4月21日(日)支部総会・8月25日(日)支部演奏会を予定しています。相変わらず支部の運営は大変ですが、役員一同頑張って活動を継続しています。そして来年こそ、例年の悲願…役員の若返りを!!!!

**熊本県支部** 支部長:崎元啓子

熊本支部では、「クループWA」というボランティアの演奏グループがあり、演奏依頼があると5~8人のメンバーが、生の演奏に触れられない郡部の保育園や老人施設に出かけ、昨年は6回コンサートを催しました。ピアノ、歌、フルートの組み合わせで、退屈しない楽しいコンサートだと好評を得ています。今年は9月15日に500人収容のホールで初めての支部コンサートをする予定です。アンサンブルや合唱も加え楽しいプログラムにしようと、みんな張り切っています。

徳島県支部 支部長:中谷洋子

今年も「This is 大阪音楽大学」が楽器店で開かれ、昨年同様に大学の先生によるミニコンサート、体験レッスンには、沢山の学生が参加し、とても充実した一日となりました。

2013年3月31日に「第14回幸楽コンサート」が開催されます。ステージに立てる感動をもう一度との呼び掛けに、第1回から試行錯誤しながら、14回と重ねて来れたのも会員の協力の賜物です。

舞台の上では、年齢も専攻も関係なく、裏方さんと一つになって作りあげるコンサートは会員交流の場となります。これから多くの会員に参加を呼び掛け、楽しい支部活動をしていきたいと願っております。

**イタリア支部** 支部長:寺倉久栄

ヴェルディが建設した、ミラノ市内にある世界で唯一の音楽家の為の養老院のホールで、この秋、北イタリア在住の日本人による演奏会が開かれました。東京芸大、国立、武蔵野、大阪相愛などの各大学の卒業生が出演し、大阪音大からは私が出演させて頂きました。

イタリア支部は現在10名程度です。イタリア在住の卒業生の方々のご連絡をお待ちしています。

イタリア各地に在住の先輩、後輩、友人をご存知の方も是非下記迄お知らせ下さい。

terakur@alice.it

cell: ++39 3386069644 寺倉迄

広島県支部 支部長:久保幸代

2012年3月20日安芸区民文化センターで支部コンサートを開催しました。サックス奏者の福本久記さんを講師にお迎えしたジャズワークショップと会員の方々の演奏で、盛会となりました。

講師の福本さん、出演者の皆様、また応援してくださった会員の皆様、厚くお礼申し上げます。

同年12月、オペラの街広島で行われた「魔笛」では、大阪音楽大学出身の歌い手が6人も出演しており、4人は広島県支部の会員でした。

その他、会員の皆様の演奏活動やCD制作などの情報が支部に寄せられています。

このような会員の方々の活躍で、地方から大阪音楽大学を応援していけることを願っております。

**広島県東部** 支部長:藤原勢子

支部24年目を迎えて年間行事の、「さわやかコンサート24回」を7月13日に行いました。今年のメインとして2台のピアノを使ってのアンサンブルにトライしました。原点回帰をモットーとし、集客、会員同士の勉強会を兼ねての集まりをたくさん重ねていくことを、目標を掲げてのトライの年でした。

ウインターコンサートは、12月15日に開催しました。3年前に、ジュニアのみ、という決まりを、年齢を問わない会員のお弟子さんで構成の発表会に変更。それに加え会員同士のアンサンブルの構成です。聞きなれた曲を中心に構成し、とても好評を戴きました。来年に向けて、頑張ろうと闘志を感じる我が支部です。どうぞよろしく。

**鳥取県支部** 支部長:清水淑子

蒜山高原や伯耆大山を背にした関金温泉のある自然豊かな関金小学校でスクールコンサートを開催致しました。

学校からの依頼ということもあり、全面協力をしていただき、ケーブルテレビの呼びかけもありました。コンサート終了後皆で給食もいただきました。

市街地から離れた学校なので、生の音楽を聞く機会もない児童ですが、6手連弾のモーツアルトのトルコ行進曲や小犬のワルツへねこふんじゅつたバージョンなどを楽しんでいただきました。「ふるさと」も大きな声で歌い、AKB48の曲で盛り上がっていました。

**姫路支部** 支部長:井上敏典

発足時約450名の会員が、設立15年目を迎える今年度は約1000名になりました。

設立当初より播州地域の文化に貢献できることを探りながら、会員同士の交流を深めてまいりました。定期演奏会「ムジカメールコンサート」、ピアノや声楽の公開講座、演奏会の支援活動「ムジカアミーチコンサート」、楽器講習会、会報発行、総会などを行っております。2013年度行事

- ・総会及び懇親会(4月下旬~5月上旬予定)
- ・定期演奏会 6月9日:姫路キャスパホール
- ・楽器講習会 6月8日:中・高生対象

小学生5月下旬予定

後援申請していただいた支部会員が出演される演奏会へのお祝い金制度があります。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

姫路支部事務局:萩原 稔浩(Tel:079-283-5171)

岡山県支部 支部長:松本義弘

2012年6月は、大学入試説明会の流れで、岡原慎也先生(P)・田中由也先生(V)・木田雅子先生(Vn)をお迎えして公開レッスンを開催しました。諸先生方の演奏に加え、クワイアチャイム《奏里和》のミニコンサートの後、小学校2年生から高校生までの受講生が、充実したレッスンを受けました。

9月には、「第9回ふれあいコンサート with オーケストラ」と題し、ブルクミュラー25の練習曲を中心に、ピアノコンチェルトの演奏会を開催しました。上塙憲一先生指揮のもと、大音卒業生による特設オーケストラメンバーと公募で集まった子供達の演奏は、会場満席のお客様に高い評価と来年度に向けての継続の声をいただきました。



第4回大音付属音楽高等学校同窓会

上野澄恵

2012年10月28日(日)

阪京橋ホテルモントレ・スールの1階アルカサールにて物理の井町正樹先生、英語の田太野垣喜代子先生を交え46名で開催しました。今回も皆様のご協力により、高校昭和40年卒業から56年卒業の方まで参加者が広範囲にわたり、会場内のスクリーンを使って「音高のあるみと歴史」を紹介すると拍手と歓声が沸き起きました。みな、それぞれ色々な職業に就き活躍されていますが、やはり何らかの形で音楽に関わって行きたいという気持ちも共通なのですね。

次回3~4年後にまた、元気で再会できることを願い会場を後にしました。次回も皆様の参加をお待ちしております。



短大4期生(昭和31年卒業)同窓会

重久好永



10月28日芦屋の「ホテル竹園」で開催いたしました。当時の私たちの学年は68名で1クラスのみでした。今は亡き小橋潔先生が受け持ちで2年間を過ごしました。卒業後は先生の後押しのおかげで毎年同期会を開催していました。

ある時期からはご夫妻で参加していただき、素晴らしいテノールで「オーソレミオ」を熱唱してくださいました。その先生も平成20年4月に他界されました。初めてのところは小さな子供連れで、いざやかな集まりでしたが、子供たちの成長につれ私たちのみの集いとなり近年は年齢による体調の変化に伴い出席者も減つてまいりましたが、今日まで50回以上の回を重ねております。今後も同期会で校歌を歌い続け楽しかった思い出話に花を咲かせたいと思っています。私たちの何よりの宝物でございます。

昭和43年音高卒業生同窓会

河内(井川)裕美子

昭和43年度卒業生による 同期会・同窓会を開催された時は、 幸楽会事務局まで、お知らせ下さい。

春には思えない寒さの中で明石城のほろびかけた桜を見ながら散策し、ほど近い和食の「たけぞう」で楽しい食事会を開きました。3年ぶりのでもう少し集まるかと思つていましたが、11名と少なかつたですが1テーブルで全員が座れたので、そのにぎやかなことはみなさんおそらく想像がつくことだと思います。

われわれも還暦を過ぎ残された日々の方が少なくなりました。が、今はなき音高は永遠です。
これからも続けたいと思いますので、クラスメイトの皆さんどんどん参加してください。



昭和52年卒業生同窓会

福島恵子(声楽)



新年1月5日、ホテルグランヴィア大阪「桐の間」にて、開催しました。今回は「アレ還暦同窓会」と銘打ち、全員に案内を出し、35名の出席でした。くじで当たった松原健二氏の乾杯の音頭に始まり、初参加は20名。

最初は緊張した様子でしたが、一人一人の近況報告が終わる頃にはすっかり和み、昔話の花が咲きました。そしてほとんど全員が二次会へ。話は尽きません。音楽現場の第一線で活躍中の者、各教育機関や自宅で後進の指導にあたる者、地域に密着した音楽活動を実践する者、子供も独立し、余暇を音楽三昧で過ごす者……みな生き生きとした様子でした。

2013年1月17日声楽部会主催、林誠企画の「僕達私達同級生へ飽くなき向上心を持つて」というテーマで、100人ほどの聴衆を迎えた柏本淑子、寺松光子、中井理映子、植田定和による特別講義がおこなわれました。柏本さんはオペラのブリマドンナとしての辛かつたこと、楽しかったことを含めその心構えを、寺松さんは伊丹市のオペラ公演が軌道に乗るまでの苦労を、中井さんは歌の勉強において自分史の中で发声の勉強の大切さを、私、植田は同じく自分史の中で演奏を今の年齢になつても続けるには基礎のための練習曲の練習が大切であるというようなことをそれぞれ語り、各自1曲ずつ演奏を披露しました。林誠君が最後に1曲歌つて特別講義を締めくくりました。学生たちはそれぞれ実感のこもった話に真剣に聞き入ってくれたようです。私にとっては、最後の最後の授業になつたのでよいけい感慨深げでした。終了後同級生15人が学生食堂「ばうぜ」で授業のことや近況を語り合いました。

大阪音楽大学音楽学部第4回卒業生(昭和38年3月卒業) 同窓会

日時…平成25年5月18日(土) 12:00

会場…大阪音楽大学 学生サロン「ばうぜ」

内容…会食・母校施設見学(オペラハウス、音楽博物館等)

会費…5,000円

お問い合わせ、連絡先… 桜井(井貫) 溢子 (0797-31-9847 (fax兼)
能勢 鑑一 (078-743-1346 (fax兼)
久野 矢 (072-779-4802
fax 050-5000-2351

※尚、詳細については、あらためて案内状でお知らせします。
※住所等変更がある場合は、至急連絡下さい。

※是非、大勢の参加をお待ちしています。

編集後記

第14号をお届けします。前号までのリレー随筆は「大阪音楽大学100周年を迎えて思うこと」に変更しました。今号は水谷一郎さんがチャイム制作のいきさつを書いてくださいました。ご存知でしたか?

総会でお会いしましょう!